

1. 行政一般

	タイトル	意見等
1	徳島・国際化元年	○ 後藤田正純徳島県知事は、徳島県に世界の名門大学を誘致開学させなければならない。 ※ 世界の名門大学⇒オックスフォード大学、ハーバード大学、ケンブリッジ大学、スタンフォード大学、イエール大学、プリンストン大学、マサチューセッツ工科大学、カリフォルニア工科大学など ○ 後藤田正純徳島県知事は、徳島県に国際連合本部事務局日本事務所の開設をしなければならない。 ○ 後藤田正純徳島県知事は駐日欧州連合代表部(東京都港区南麻布4丁目)を通じて、徳島県と欧州連合加盟各国(ドイツ・イギリス・フランス・イタリアなど)の国際関係の強化並びに国際文化の強化をしなければならない。
2	人材確保対策について	○ 後藤田正純徳島県知事は、人材確保対策の取り組みの一環として、厚生労働省国務大臣が定める基準を満たす高度の専門的知識又は専門的技術等を有する高度人材(博士号の学位を有する者・弁護士・公認会計士・不動産鑑定士・税理士・医師・歯科医師・薬剤師・獣医師・一級建築士・技術士・弁理士・社会保険労務士・「特許法」に規定する特許発明の発明者・「意匠法」に規定する登録意匠を制作した者)の人材確保をしなければならない。
3	透明度アップについて～開かれた徳島県庁～	○ 後藤田正純徳島県知事は、知事戦略局に秘書広報課を設置しなければならない。 ※ 三木申三元徳島県知事時代は、秘書広報課だった。 ○ 後藤田正純徳島県知事は徳島県民一人一人の参画を促進する目的で、知事戦略局で対話形式による徳島県民との「県民懇談会」開催又は「県民ミーティング」を開催しなければならない。 ○ 後藤田正純徳島県知事は知事定例記者会見に、徳島県民が参画できるようにしなければならない。
4	徳島市内における国や県の行政機関の集約化とその跡地整備	国機関の多くが11号線沿いに集約されつつある今、更に国や県の施設を都心への集約化を行なっていくべきです。県施設としては東部県土整備局、徳島保健所、徳島県合同庁舎、総合福祉センター、県職員会館、県教育会館等を集約高層化して合理化と土地の利活用を行なうべきです。また出来島にある国の機関も土地の県購入や11号線近くへの移転要請(例：香川県カボット近くへの集約化)を行ない跡地の公園化、併せて出来島地区のガス会社、バス会社の移転要請と跡地県営化で近隣区画整備やアリーナやスタジアム整備を実施すべきです。
5	子ども まんなか とくしまの実現	○ 後藤田正純徳島県知事は公益財団法人「徳島県子ども育成財団」を設立しなければならない。 ○ 後藤田正純徳島県知事は、所得制限なしの「徳島県子ども手当」を創設しなければならない。
6	三好保健所で検査料も領収書を貰えなかった	三好保健所に飲食店営業の水質検査に必要なボトルを受け取りに行く。その際、対応者に「お金の支払いは今ですか」と質問し「検体提出時です」と説明を受ける「明日の8:30頃に持ってきてもいいですか」と確認したところ「8:30からですのでいいですよ」とお返事頂きボトルを持って帰宅 三好保健所に水質検査の検体をもって生き、検査料6050円を支払うと「食品衛生協会が不在のため領収書は発行できません」と言われ「では私が支払った証拠になるものをください」と言うと携帯番号を書いた付箋を持ってきて私の携帯から私の通話料で電話をかけるように言われ、電話口からも「領収書は発行出来ないのだから後から郵送する」と言われる「領収書は支払った証拠にお金と引き換えるのが普通ですよ」と言う「私(食品衛生協会)の出勤時間は9:30からなのでそれ以外の時間は領収書は発行出来ない」と念押しされ保健所を出ました。 水質検査の検体を持ち込めるのは8:30から、書類に記された火曜日の水質検査受付時間は9:00から領収書の発行は9:30から。ということは私が前日に確認した際に領収書が発行できる時間を案内すべきでは?それとも元々お金と領収書を引き換えるつもりがなかったというふうに受け取れます。保健所の職員からは謝罪の一言もなし。食品衛生協会の職員も出勤時間を超えても領収書をもって来ることもなく謝罪もなし。これは財産の搾取と夫が抗議に行ってくれなければ泣き寝入りするところでした。このことで心が傷んで立ち直れそうにありません。保健所に2時間お金を取られた状態でした。公的機関としてありえない。持ち込み時間と案内時間と書類記載時間を保健所と食品衛生協会がすり合わせればいいだけの話であり県民の財産を軽く考えすぎです。携帯での通話も常識では協会からかけてくるべき。通話料を搾取されました。
7	透明度アップについて～開かれた徳島県庁～	○ 後藤田正純徳島県知事は徳島県民一人一人の声を聞く力で、形のある開かれた徳島県庁にしなければならない。 ※ 知事戦略局での徳島県民懇談会の開催又は徳島県民ランチミーティングの開催 ※ 知事定例記者会見時においての徳島県民の記者会見室への県民参画 ※ 徳島県民提案制度を受け付ける「県民アイデアバンク」の開設

1. 行政一般

	タイトル	意見等
8	県職員採用増加について	18日朝刊に『50代以上の大量退職と民間との人材獲得競争激化を踏まえ来年度から最大規模の採用をする』記事を見た。今のままで採用人数だけ増やすと、人材の著しい資質的低下が起こり、円滑適正な行政履行に支障が出る事が危惧される。徳島県職がどう思われているか？知事を始め、県人事関係者はご存知なのか？『残業で帰りは遅く、有給休暇も取れないブラック』との評価が学生や若い人に定着し、優秀な学生は避ける方向にある。地元の若い駐在所の警官や銀行員や某製薬会社員に聞いてもブラックだと言っている。『働き方改革』で民間は特別休暇(夏季休暇、連続休暇)以外に年5日以上有給休暇を取らせないと、法令違反で罰金等処罰を受け、右肩下がりの経済下で人件費コストの削減もあり、業務改革、意識改革で時間外労働の削減を実施してきた。県職は、労基が入らない為か平均時間外労働は全国トップクラス、平均基本給は全国中位以下なのに時間外手当を含めた平均給与支給額が東京都庁に次いで全国二位とは、県民の血税をいったい何に使っているのか。せめて全国平均並には改善すべきでないか。それが、県民の信頼を得、リクルート面でも人材確保に繋がる急務事項でないか。県警も教職員も切実急務事項として抜本的改革を行っている。県職はなぜ、ぬるま湯的な日和見主義で徹底的にやらないのか？
9	石川県との地域活性化及び防災等に関する連携協定の締結	○ 後藤田正純徳島県知事は石川県知事との「徳島県と石川県との地域活性化及び防災等に関する連携協定書」の締結の際には、徳島大学(総合科学部・理工学部・医学部・薬学部)と金沢大学(人間社会学域・理工学域・医薬保健学域)との間で学術研究の促進をしなければならない。 ○ 後藤田正純徳島県知事は、石川県知事との「徳島県と石川県との地域活性化及び防災等に関する連携協定書」の締結の際には、星稜高等学校が春の選抜高等学校野球大会に北陸信越地区代表で出場する時は、アグリあなんスタジアムで事前合宿をするように意見交換をしなければならない。 ※ 新たな関係交流人口の拡大⇒北陸新幹線のイメージソングの北陸ロマンの歌 ○ 後藤田正純徳島県知事は、石川県知事との「徳島県と石川県との地域活性化及び防災等に関する連携協定書」の締結の際には、野球独立リーグの徳島インディゴソックスと石川ミリオンスターズとの練習交流試合ができるように意見交換をしなければならない。 ※ 新たな関係交流人口の拡大⇒北陸新幹線のイメージソングの北陸ロマンの歌
10	徳島県のケーブルテレビ読売テレビ	徳島県のケーブルテレビでは読売テレビは、四国放送との関係でサービスエリア外となっており視聴出来ません。私は阪神タイガースの試合を観るのを楽しみにしていますが、読売テレビの放送の時は観れません。4/19 20は観れませんでした。なんとか読売テレビの放送エリアに徳島県も入れてもらえるよう働きかけて頂けないでしょうか。
11	非常勤職員による県所有者の運転に関する運用の緩和について	徳島県の県有車両管理規則について、意見を申し上げます。 私はかつて、非常勤職員として勤務しておりました。当時は、「非常勤職員が県有車両を運転することは一切認められない」という厳格なルールのもと業務に従事しており、たとえ自身に時間の余裕があっても、正規職員が同乗していなければ敷地外での運転は固く禁じられていました。 ところが最近、その運用実態を耳にし、非常勤職員による公用車の運転が、上の承認を得ることで例外的に容認されている状況があると知りました。 このような緩和は、県側の人員不足や体制上の都合によるものかと思いますが、以前の運用との整合性を欠いていると感じます。 もちろん、現場のご苦労や事情も理解いたしますが、こうした対応が結果として安全性の低下、責任の所在の曖昧化、職員間における運用の不公平を招いているのではないのでしょうか。 一度は明確に禁止されていた運用が、「特別な事情」といった抽象的な基準によって緩やかに認められるようになったことは、県民の視点から見ても納得しがたいものです。 今後、例外的な運転許可を設けるのであれば、その基準や判断の過程を県民に分かる形で明示・公開していただきたいと思います。 つきましては、県有車両の運用ルールとその例外適用に関して、改めてその妥当性をご検討いただけますよう、強く要望いたします。
12	徳島県と石川県との地域活性化及び防災等に関する連携協定	○ 後藤田正純徳島県知事は石川県知事との「徳島県と石川県との地域活性化及び防災等に関する連携協定書」の締結の際には、同じ日本テレビ系列の四国放送とテレビ金沢(テレ金)との間でテレビ番組の相互連携の意見交換をしなければならない。 ○ 後藤田正純徳島県知事は石川県知事との「徳島県と石川県との地域活性化及び防災等に関する連携協定書」の締結の際には、全日空又は日本航空による徳島=羽田=石川小松の羽田空港乗り継ぎ割引運賃を活用して、地域活性化の意見交換をしなければならない。 ※ 具体的には、金沢の和菓子と加賀棒茶 ※ 具体的には、加賀百万石まつり(令和7年6月6日～6月8日)と阿波おどりと伝統文化を通じた連携 ※ 具体的には、加賀友禅と阿波しじら織りとの着物を通じた連携 ○ 後藤田正純徳島県知事は石川県知事との「徳島県と石川県との地域活性化及び防災等に関する連携協定書」の締結の際には、全日空による徳島=羽田=能登(のと里山)の羽田空港乗り継ぎ割引運賃制度を利用して、能登地域の復興支援の意見交換をしなければならない。 ※ 具体的には、世界農業遺産の「能登の里山里海」の復興支援 ※ 具体的には、和倉温泉の加賀屋の復興支援並びに輪島温泉のホテルこうしゅうえんの復興支援

1. 行政一般

	タイトル	意見等
13	徳島県の魅力度アップについて	○ 後藤田正純徳島県知事はソフトバンク本社の協力を得て「徳島県全県デジタル6G・ICT光の道」の構築をしなければならない。 ※ 教育のデジタル6G・ICT光の道、ものづくりのデジタル6G・ICT光の道、保健医療のデジタル6G・ICT光の道、観光振興のデジタル6G・ICT光の道、地方創生のデジタル6G・ICT光の道など
14	透明度アップについて～開かれた徳島県庁～	○ 後藤田正純徳島県知事はソフトバンク本社と連携して「徳島県全県ICTスーパー情報ハイウェー」を創生しなければならない。 ※ 地域情報化による地方創生・地方再生・地域振興で地方創生戦国時代への挑戦を行う。
15	香港特別行政区経済ミッションにおける徳島県民へのお土産	○ 後藤田正純徳島県知事は中華人民共和国の香港特別行政区のセントラルハーバーフロント及びヴィクトリア・パーク(古き良きイギリス領香港時代のヴィクトリア女王の名前に由来)をモデルケースにして、マリンピア沖洲のウオーター・フロント開発事業を行い、マリンピア沖洲を徳島の臨海副都心又は徳島の臨海新都心にしなければならない。 ※ マリーナ(逗子マリーナ又は葉山マリーナ規模を想定)、ヨットハーバー、海浜緑地公園(横浜港の見える丘公園を想定)、展望大観覧車(横浜大観覧車のコスモクロック21を想定)、外資系IR統合型リゾートホテル、大江戸温泉物語、徳島港水族館、徳島デイズニーランドなど ※ 東京臨海副都心、横浜みなとみらいMM21、千葉幕張新都心など
16	住民税基礎控除、年金控除変更依頼	今年度国の予算作成時に所得税の減税(控除額増加)が行われます。これはここ数年の物価高騰、賃金上昇に伴い、従来から変更されていなかった基礎控除を増加させることで国民の負担を減らしてゆ�ために実施されています。本来これに合わせて、住民税の基礎控除も変更すべくですが、これは地方税の減少につながる懸念から各知事から反対意見が上がり、見送られたという経緯があると認識しています。しかし、多数を占める65歳以上の年金所得者にとって、所得税負担はわずかで、住民税、介護保険、健康保険の負担が大きいのが現実です。この算定基準になっている所得とは、収入から年金控除、住民税基礎控除を差し引いたもので、この控除額は全く変わっていませんので、年金額の毎年の増額(マクロスライド方式)に伴い、所得額が増え、住民税、介護保険、健康保険が毎年増えていきます。この結果、住民税非課税だった人が課税になったり、介護保険料、健康保険料が上がったり、保険負担割合が上がったり、ということが起こっています。年金のみの受給者にとっては、物価にも届かない上昇額をもらった上に、税金も上がる、と踏んだり蹴ったりの状態です。やはり、物価上昇(賃金上昇)にスライドして年金控除、基礎控除を変更していかないと、特に低所得者に大きな負担となってしまいます。今まで物価は上がらなかったのが良かったのですが、現状を見ると毎年3%くらいの上昇があると思いますので、ぜひここは年金控除、住民税の基礎控除をリーズナブルに変更してほしいと思います。これは国が決定することと認識していますが、知事会で物価スライドの控除額変更制度を容認す申し出ていただければ国は了承するはずです。自民党、国民民主党、その他の政党にも意見を投稿していますが、いまだ動く気配が見えません。地方からの反対を恐れているのでしょう。全国知事会にもこの問題を具申しぜひこの控除額の変更をお願いしたいと思います。
17	第一種動物取扱業者一覧を最新にしてください。	ゴールデンウィーク明けの5月9日までに、第一種動物取扱業者一覧を最新にしてください。